

授業コード	D8020ZZ		
科目名	企業分析論		
担当者	中條 良美		
単位数	4	レベル	3
開講期間	2017年度 後期	開講曜日	火曜1限 木曜3限
開講キャンパス	本キャンパス		
授業の到達目標およびテーマ	<p>近年まで、日本企業に以前の力強さはみられませんでした。もっとも問題とされたのは、利益率の低さであり、平均でみてアメリカの企業に水を空けられている状況でした。この事実は、証券市場にも多大な悪影響をおよぼしました。現在では、経済の回復にともなって、最高益を更新する企業が多くなってきましたが、一面では「勝ち組」の企業と「負け組」の企業とに分かれてしまったとも言われます。</p> <p>では、なぜこうなってしまったのでしょうか。生産性が低いから、あるいは一部の企業にしか新しい技術を生み出す能力が備わっていないから…おそらく答えは“No”でしょう。これは純粋に企業経営の問題なのです。まず、戦略の重要性が見過ごされていたという事実が指摘されます。つぎに、「誰のために企業が存在するか」という企業経営の羅針盤がなかった点が考えられます。利益率の低さは、そのことをはっきりと物語っています。</p> <p>本講義では、上記の視点から企業を定量的に分析する技術を習得していただきます。そのために、財務諸表の基本的な見方はもちろんのこと、財務諸表が社会に与える影響を客観的に理解するために、金融や統計の知識についても平易に解説します。与えられた数値を適切に加工することによって、企業に関する理解が飛躍的に高まる醍醐味を実感してください。</p>		
授業の概要	<p>このような問題意識をもとに、この講義では、企業行動、組織、業績、株価といったさまざまな観点から、企業の実態に迫ります。財務情報など現実のデータにふれながら、企業分析の基礎を学び、かつその知識を応用に結びつける能力を育成します。</p>		
授業計画	<p>第1回 講義の概要説明 第2回 金利に関する基礎知識 第3回 株式会社の機関(1)－所有と経営の分離 第4回 株式会社の機関(2)－株主総会・取締役会・監査役の役割 第5回 株式会社の機関(3)－計算書類の意義 第6回 株式会社の計算 第7回 ディスクロージャー制度(1)－資本市場の役割 第8回 ディスクロージャー制度(2)－情報開示制度の概要 第9回 ディスクロージャー制度(3)－財務諸表の役割 第10回 中間まとめ-1 第11回 財務諸表(1)－連結財務諸表と個別財務諸表の違い 第12回 財務諸表(2)－貸借対照表の構成 第13回 財務諸表(3)－損益計算書の構成 第14回 財務諸表(4)－財務諸表の復習 第15回 割引現在価値の計算(1)－計算方法 第16回 割引現在価値の計算(2)－有限期間と無限期間の違い 第17回 安全性分析(1)－比率の計算 第18回 安全性分析(2)－計算問題による復習 第19回 収益性分析(1)－比率の計算 第20回 収益性分析(2)－計算問題による復習 第21回 中間まとめ-2 第22回 効率性分析(1)－比率の計算 第23回 効率性分析(2)－計算問題による復習 第24回 成長性分析 第25回 キャッシュフロー計算書の分析(1)－比率の計算 第26回 キャッシュフロー計算書の分析(2)－計算問題による復習 第27回 企業価値分析(1)－フリー・キャッシュフローにもとづく計算 第28回 企業価値分析(2)－エンタープライズ・バリューの計算 第29回 企業価値分析(3)－計算問題による復習 第30回 講義のまとめ</p>		
	<p>第1回 予習:なし 復習:企業が直面する現代的課題について考えをまとめる 第2回 予習:金利の意味、役割について調べる 復習:複利計算のしくみを理解し、EXCELで計算のシミュレーションをする</p>		

<p>授業外学習(予習・復習)</p>	<p>第3回 予習:所有と経営の分離について調べる 復習:株式会社の機関を概念図にまとめる</p> <p>第4回 予習:株主有限責任について調べる 復習:株主と債権者との間での企業価値の分配問題について考えをまとめる</p> <p>第5回 予習:会社法の内容について調べる 復習:株式会社のチェック機能が果たされているかどうか事例を検索する</p> <p>第6回 予習:計算書類の内容について調べる 復習:計算書類の構成および役割について考えをまとめる</p> <p>第7回 予習:金融商品取引法の内容について調べる 復習:資本市場における情報の役割を具体的な事例をもとにまとめる</p> <p>第8回 予習:財務諸表の内容について調べる 復習:財務諸表の構成および役割について考えをまとめる</p> <p>第9回 予習:関心のある会社の財務諸表をEDINETからDLする 復習:自身が収集した財務諸表から何が読み取れるか考察する</p> <p>第10回 予習:これまでの講義内容を整理する 復習:練習問題に繰り返し挑戦する</p> <p>第11回 予習:連結財務諸表の意義について調べる 復習:連結財務諸表と個別財務諸表の違いを考える</p> <p>第12回 予習:貸借対照表の内容について調べる 復習:資産・負債・純資産の各部の構成項目について意味を考える</p> <p>第13回 予習:損益計算書の内容について調べる 復習:各損益区分の構成項目について意味を考える</p> <p>第14回 予習:外貨換算の方法について調べる 復習:在外関係会社の計算手続きについてまとめる</p> <p>第15回 予習:複利計算の方法を確認する 復習:現在価値がどのような経済現象に適用されているか事例を調査する</p> <p>第16回 予習:現在価値の計算問題に挑戦する 復習:有限期間と無限期間の現在価値計算の方法を理解する</p> <p>第17回 予習:安全性を財務諸表からどう読み取るかについて調べる 復習:伝統的な安全性分析の方法を理解する</p> <p>第18回 予習:自身が収集した財務諸表について安全性分析を実施する 復習:独自の視点から安全性の測定尺度を考える</p> <p>第19回 予習:収益性を財務諸表からどう読み取るかについて調べる 復習:伝統的な収益性分析の方法を理解する</p> <p>第20回 予習:自身が収集した財務諸表について収益性分析を実施する 復習:独自の視点から収益性の測定尺度を考える</p> <p>第21回 予習:これまでの講義内容を整理する 復習:練習問題に繰り返し挑戦する</p> <p>第22回 予習:企業経営の効率性とは何かを考える 復習:伝統的な効率性分析の方法を理解する</p> <p>第23回 予習:自身が収集した財務諸表について効率性分析を実施する 復習:独自の視点から効率性の測定尺度を考える</p> <p>第24回 予習:企業の成長性を何で測定するかを考える 復習:伝統的な成長性分析の方法を理解する</p> <p>第25回 予習:キャッシュフロー計算書の構造について整理する 復習:会計発生高の役割を理解する</p> <p>第26回 予習:フリー・キャッシュフローについて調べる 復習:フリー・キャッシュフローと利益がそれぞれどのような側面で役立つかを事例をもとに考える</p> <p>第27回 予習:企業価値とは何かについて調べる 復習:配当割引モデルの意義と方法について理解する</p> <p>第28回 予習:キャッシュフロー割引モデルについて調べる 復習:キャッシュフロー割引モデルの意義と方法について理解する</p> <p>第29回 予習:自身が収集した財務諸表をもとに企業価値分析を試みる 復習:他企業との間で企業価値の比較分析を行う</p> <p>第30回 予習:これまでの講義内容を整理する 復習:練習問題に繰り返し挑戦する</p>
<p>授業の方法と学習上の留意点</p>	<p>この授業では、無線LANを利用した双方向教育システム「ポータブルHInT」(以下、「p-HInT」)で授業を行います。p-HInTでの授業においては、無線LAN通信が可能な機器(スマートフォンやゲーム機等)を持参する必要があります。必ず授業開始までに、下記のページから機器の準備方法等を確認してください。 (https://www.office.hannan-u.ac.jp/jyo-center/p-hint/info/information.html)</p>

成績評価基準	<p>[評価の割合] 受講態度:40% 定期試験:60%</p> <p>基本的には、新聞報道等の記事や財務データをもとに、企業の診断を行い、株式投資の戦略を考えます。みなさんの柔軟な発想に基づく所見を期待します。</p> <p>なお、私語については厳格に対応し、受講態度の悪い学生には退席を求めますので、ご注意ください。定期試験は、講義の内容を消化していれば、十分に解答が可能なレベルに設定した問題が出題されます。</p>
教科書	使用しません。
参考文献	授業用フォルダの講義資料・練習問題を参照してください。その他の関連する文献等については、講義中に適宜指示します。
関連して受講することが望ましい科目	「簿記・会計学入門」や「ビジネスデータ分析」は、ここで学習する企業分析の基礎を提供する学問領域です。企業分析に関心をもたれた方は、これらの科目も受講されるとよいでしょう。
シラバス分野	学科科目